

協働事業評価シート

部課名	市民部 男女共同参画課
記入団体名	NPO法人 武蔵観研

平成27年度

予算事業名	男女共同参画推進
-------	----------

新規 <input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/>
--

協働事業名称	男女共同参画情報紙発行事業		
協働事業の概要	男女共同参画社会の形成を目指し社会的機運を醸成するため、男女共同参画に関する情報を幅広く提供し、意識改革への働きかけを積極的に行うことを目的とし、情報紙を発行する。		
協働事業の決算額	600,000 (委託額)	円 ※委託額及び補助金額を記載	
事業の実施期間	平成27年8月3日 ~ 平成28年3月31日		

協働の提案者	①川越市からの提案 ②市民活動団体等からの提案	①
協働の形態	① 補助・助成 ② 共催 ③ 協働委託 ④ 後援 ⑤ 情報交換・情報提供 ⑥ 実行委員会・協議会 ⑦ 事業協力 ⑧ 企画・計画立案への参画	③

【協働事業評価について】

○評価基準… ・大変よくできた (5点) ・よくできた (4点) ・できた (3点)
・あまりできなかった (2点) ・全くできなかった (1点)

No.	評価の視点	実施段階	評点		
			行政	団体	平均
1	協働事業を行うにあたって、互いの持つ情報等を共有することができましたか。	前・中	4	4	4
2	相手の立場や特性を互いに理解し、信頼関係を築けましたか。	前・中	4	5	4.5
3	事業目的を共有することができましたか。	前・中	3	4	3.5
4	市民活動団体等の自主性・自立性は尊重されましたか。	後	4	4	4
5	行政と市民活動団体等が対等な立場で事業を実施できましたか。	後	4	4	4
6	役割分担や責任を明確にすることができましたか。	後	4	4	4
7	全体として満足できる結果でしたか。	後	4	4	4

合計点数	28 点
------	------



男女共同参画情報誌
「イープン」

【担当者等からの今回の協働事業に対する感想等】

【行政】

- ・協働委託というのは、官民双方の意見交換が重要であり、受託者の会議や打ち合わせには積極的に参加し、信頼関係や共通理解を深めていくことが大切と思われる。
- ・男女共同参画以外の分野で活躍している団体であり、新たな視点で情報紙を発行することができた。

【市民活動団体等】

男女共同参画情報紙は、啓蒙という意味合いがあるので、市民に読んでもらえるよう文字を大きくしたり、特殊性を抑えたりして、「やさしく、ためになる」をモットーに作成した。

協働事業では、役割分担に基づき情報紙を発行しているが、紙面をつくる割り振り段階での意思統一が特に必要であり、何をどう載せるか、短い時間の中での作業になるが、各編集委員の集中的な協力が不可欠と考える。

【川越市協働事業審査委員会における評価】

			評価結果
A	2名	当該協働事業を実施したことで、具体的に公共サービスが向上する等、適切な協働事業として評価できるものであった。	B
B	6名	ほぼ適切な協働事業として評価できるものであった。	
C	1名	当該事業を協働事業として実施するには課題がある。事業を継続する場合は見直しが必要である。	
D	0名	協働事業としてうまく機能しなかった。	

【事業に関するコメント】

- ・近年同種の事業が多くなっています。この事業が特に不可欠なものとは思えず、めずらしさありません。協働事業として見直す必要があります。
- ・表記の工夫は見られましたが、内容に何を求めているのか、はっきりした意図が見えて欲しいと思います。
- ・担当課と会議や打ち合わせ等を重ねたことで内容が良くなっていると思います。
- ・ウェスタ川越の男女共同参画関連の予約や使用方法及び料金、事業予定等を盛り込んで良いのではないのでしょうか。

協働事業評価シート

部課名	市民部 男女共同参画課
記入団体名	川越市女性団体連絡協議会

平成27年度

予算事業名	男女共同参画推進
-------	----------

新規 <input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/>
--

協働事業名称	イーブンライフin川越	
協働事業の概要	○イーブンライフin川越の開催 1. 開催日 平成27年11月28日(土) 2. 会場 川越市市民活動・生涯学習施設 活動室1・2 3. 内容 講演 講師 鈴木 郁子氏(光の家療育センター施設長、小児科 専門医・リハビリテーション専門医) 演題 「向き合うことの大切さ ～人は互いに寄り添い支えあって生きる～」 4. 来場者 103名	
協働事業の決算額	200,000 円	※委託額及び補助金額を記載
事業の実施期間	平成27年8月10日から11月30日	

協働の提案者	①川越市からの提案 ②市民活動団体等からの提案	①
協働の形態	①補助・助成 ②共催 ③協働委託 ④後援 ⑤情報交換・情報提供 ⑥実行委員会・協議会 ⑦事業協力 ⑧企画・計画立案への参画	③

【協働事業評価について】

○評価基準… ・大変よくできた(5点) ・よくできた(4点) ・できた(3点)
 ・あまりできなかった(2点) ・全くできなかった(1点)

No.	評価の視点	実施段階	評点		
			行政	団体	平均
1	協働事業を行うにあたって、互いの持つ情報等を共有することができましたか。	前・中	5	4	4.5
2	相手の立場や特性を互いに理解し、信頼関係を築けましたか。	前・中	5	4	4.5
3	事業目的を共有することができましたか。	前・中	4	5	4.5
4	市民活動団体等の自主性・自立性は尊重されましたか。	後	4	5	4.5
5	行政と市民活動団体等が対等な立場で事業を実施できましたか。	後	4	4	4
6	役割分担や責任を明確にすることができましたか。	後	5	4	4.5
7	全体として満足できる結果でしたか。	後	4	5	4.5

合計点数	31 点
------	------



講演会の様子

【担当者等からの今回の協働事業に対する感想等】

【行政】

今回は、講師の選定・交渉について、受託者が自身のネットワークを活かして主導的に行い、すばらしい講師をお迎えすることができた。その分、受託者は例年より大変であったと思うが、お互いが得意分野を受け持ち、よい形で事業を行えたと思う。参加者のアンケートを見ても、概ね好評であった。来年度については、もう少し若い人にも参加してもらえるように、検討していきたい。

【市民活動団体等】

講師には、身近な問題から、今社会で考える事柄を講演して下さり、幅広い市民の皆様に満足頂けた講演だったと思います。会場の規制が多く、今後は取り組む前に考えなければならないと思いました。

【川越市協働事業審査委員会における評価】

		評価結果
A	3名	B
B	5名	
C	1名	
D	0名	

【事業に関するコメント】

- ・講演会中心の事業も良いと思いますが、付加価値の高い事業となるように協働を活用できれば、なお良いと思います。
- ・講演内容は素晴らしく、参加者は非常に満足していたように感じました。
- ・事業周知に力を入れる等、来場者数を伸ばすような工夫をお願いします。
- ・この事業の主目的は「イーブンライフin川越」の開催であり、当日の講演者の選定が重要なポイントであると考えます。その講師選定が難航したことについて詳述されていないため具体的なコメントができませんが、気になるところです。
- ・参加者の男女、年齢構成を知ることにより次のテーマが見えてくるのではないのでしょうか。

協働事業評価シート

部課名	市民部 男女共同参画課	平成27年度
記入団体名	川越市女性ネットワーク	

予算事業名	男女共同参画推進	新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/>
-------	----------	--

協働事業名称	男女共同参画市民フォーラム	
協働事業の概要	<p>男女共同参画市民フォーラム：男女共同参画の様々な問題に対して、専門的な知識を持った講師による講演会(2時間程度)等を1回開催。男女共同参画社会の実現を図るため、男女共同参画の正しい理解を深めるとともに意識啓発を行う。「男女共同参画週間(6月23日～29日)」にちなみ実施する。</p> <p>開催日：7月11日(土) 13:30～15:30 会場：ウェスタ川越2階(市民活動・生涯学習施設) 講師：井上 治代(東洋大学ライフデザイン学部教授、NPO法人エンディングセンター理事長) 内容：輝いて生きるための「終活」～最新葬送事情～ 参加者数：131人(男性 22人 女性 109人)</p>	
協働事業の決算額	200,000円	※委託額及び補助金額を記載
事業の実施期間	平成27年7月11日	

協働の提案者	①川越市からの提案 ②市民活動団体等からの提案	①
協働の形態	① 補助・助成 ② 共催 ③ 協働委託 ④ 後援 ⑤ 情報交換・情報提供 ⑥ 実行委員会・協議会 ⑦ 事業協力 ⑧ 企画・計画立案への参画	③

【協働事業評価について】

○評価基準… ・大変よくできた(5点) ・よくできた(4点) ・できた(3点)
 ・あまりできなかった(2点) ・全くできなかった(1点)

No.	評価の視点	実施段階	評 点		
			行政	団体	平均
1	協働事業を行うにあたって、互いの持つ情報等を共有することができましたか。	前・中	4	4	4
2	相手の立場や特性を互いに理解し、信頼関係を築けましたか。	前・中	5	4	4.5
3	事業目的を共有することができましたか。	前・中	5	5	5
4	市民活動団体等の自主性・自立性は尊重されましたか。	後	5	5	5
5	行政と市民活動団体等が対等な立場で事業を実施できましたか。	後	4	5	4.5
6	役割分担や責任を明確にすることができましたか。	後	5	5	5
7	全体として満足できる結果でしたか。	後	5	5	5

合計点数	33 点
------	------



【担当者等からの今回の協働事業に対する感想等】

<p>【行政】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年同様、随意契約で実施団体を決定できたため、スムーズに事業を行うことができた。 ・男女共同参画に関する講演会の客層は、ほとんど女性であるが、昨年から男性の参加者が以前と比べ多くなった。ただし、テーマに起因するところはあるが、若年層の参加はなかった。 ・平成28年度においては、第五次川越市男女共同参画基本計画策定後、初めての市民フォーラムとなるので、講演内容の検討が重要となると考える。
<p>【市民活動団体等】</p> <p>講演会においては、「テーマ」と「講師」選択が、集客に大きく影響することになるので、短い事業準備期間の中、よくできたと思います。ですが、2年続けてのテーマ（終活）であり、若い人たちの参加が少なくなりました。次年度は、新たなテーマで実施を予定しております。</p>

【川越市協働事業審査委員会における評価】

		評価結果
A	3名	B
B	6名	
C	0名	
D	0名	

<p>【事業に関するコメント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今回のテーマは誰にも当てはまるものであり、非常に役に立つ内容であったと思います。男性の参加も増えつつありますが、さらに増えることを期待します。 ・「テーマ設定」や講演内容については、単年度ではなく、数か年の計画をたてて男女共同参画全般にバランス良く計画すると良いと思います。協働事業を生かせるようにしてください。 ・「テーマ」に対する団体の意見が反映されていません。集客・告知、当日の運営のみを委託したということは“協働”になるのでしょうか。 ・2年連続同じテーマですと新鮮味に欠けますし、客層も固定されてしまうと思います。 ・アンケート結果の添付や講師謝金の内訳の詳細な記入をお願いしたいです。
--

協働事業評価シート

記入団体名（部課名）	NPO法人川越子育てネットワーク
記入者（職名及び氏名）	こども未来部 こども政策課

平成27年度

予算事業名	子ども・子育て支援新制度
-------	--------------

新規 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/>

協働事業名称	子育て情報誌作成		
協働事業の概要	子育て中の方やこれから子育てする方が安心して子育てができるよう、行政の制度、各種相談窓口、出産・子育てに関する情報などを紹介するための情報誌を作成する。		
協働事業の決算額	88,000	円	※委託額及び補助金額を記載
事業の実施期間	平成27年 7月 8日 ~ 平成28年 3月31日		

協働の提案者	①川越市からの提案 ②市民活動団体等からの提案	①
協働の形態	① 補助・助成 ② 共催 ③ 協働委託 ④ 後援 ⑤ 情報交換・情報提供 ⑥ 実行委員会・協議会 ⑦ 事業協力 ⑧ 企画・計画立案への参画	③

【協働事業評価について】

○評価基準… ・大変よくできた（5点） ・よくできた（4点） ・できた（3点）
・あまりできなかった（2点） ・全くできなかった（1点）

No.	評価の視点	実施段階	評 点		
			行政	団体	平均
1	協働事業を行うにあたって、互いの持つ情報等を共有することができましたか。	前・中	5	5	5
2	相手の立場や特性を互いに理解し、信頼関係を築けましたか。	前・中	5	5	5
3	事業目的を共有することができましたか。	前・中	5	4	4.5
4	市民活動団体等の自主性・自立性は尊重されましたか。	後	5	5	5
5	行政と市民活動団体等が対等な立場で事業を実施できましたか。	後	5	5	5
6	役割分担や責任を明確にすることができましたか。	後	5	5	5
7	全体として満足できる結果でしたか。	後	4	5	4.5

合計点数	34点
------	-----



平成28年度子育て情報誌
「こえどちゃん」

【担当者等からの今回の協働事業に対する感想等】

【行政】

当事業は今回で14版目となる子育て情報誌の作成を行うもので、子育て当事者と行政双方の視点から子育て情報を掲載し、持ち運べる冊子として情報を提供することで、子育てを支援するものである。

昨年度からは、官民協働事業として編集印刷等を担当する民間事業者と協定を締結し、3者での事業実施となった。また、本協定により発行部数を19,500部に増やすことができ、未就学児のいる世帯へ広く情報誌を配布できるようになった。

一方、編集作業を外で行うことから、原稿作成の時間が短くなる等の懸案事項があったが、原稿作成や校正を遅滞なく行うことができた。

また、新たに市民の方向けの感想フォーム（※）を設置したことに伴い、ニーズの把握が容易になったため、今後も市民活動団体と意見交換し本誌の一層の充実を図りたい。

※市民活動団体専用ページ中QRコードより送信

【市民活動団体等】

今年度も、企業+行政+NPO法人の3者での制作で、我々NPOとしては、より妊娠中・子育て中の母親、父親にリアルに届くような記事の制作に特化して全国的にも珍しい情報誌が作成できたのではないかと思います。

全ページフルカラーで見やすく、且つ発行部数19,500部は未就学児のいる全世帯に配布できる数で、多くの人へ情報が届けられるのは大変嬉しいことである。

ただ、協働の契約を交わし、7月から協力してくれる母親、父親を募集し（7、8月）、原稿作成の説明（8月）などの時間等を考えると、実際の原稿作成、初稿投稿までが約1ヶ月（9月）足らずで、時間がタイトなのがここ数年の現状。もっと時間を取れば、じっくり当事者のニーズを拾いながらの作成ができるのではないかと考える。4月から事業が開始出来れば、もう少し余裕を持って取り組めるので、契約時期を早めていただけるとありがたい。

今後もさらにニーズを把握しながら、もっと読み易く、子育ての役に立つ情報誌となるよう協議していきたい。

【川崎市協働事業審査委員会における評価】

A	9名	当該協働事業を実施したことで、具体的に公共サービスが向上する等、適切な協働事業として評価できるものであった。	評価結果 A
B	0名	ほぼ適切な協働事業として評価できるものであった。	
C	0名	当該事業を協働事業として実施するには課題がある。事業を継続する場合は見直しが必要である。	
D	0名	協働事業としてうまく機能しなかった。	

【事業に関するコメント】

別紙に記載

【事業に関するコメント】

- ・とても立派な冊子です。行政・専門家だけではなく、多くの方々の声を参考に編集されていますので、子育てをしている方にとっての参考書になっていると思います。
- ・官民協働事業として三者での事業実施をしたことにより、少ない予算で発行部数の増加、カラー印刷で非常に見やすくなりました。毎年の改訂版で大変だと思いますが、より充実した内容をめざして引き続き事業の継続をお願いしたいと思います。
- ・地域に根差した子育て支援に取り組むNPOと行政・企業の3社の連携は珍しく、モデル事業となるものです。部数が増え、子育てに悩む未就学児家庭全世帯に配布が出来たのは素晴らしいことです。委託費を高めても良いのではないのでしょうか。
- ・当冊子は電子書籍にもなっており、QRコードを活用して親たちの感想を集めている点も先進的です。
- ・団体の希望どおり早い時期から活動できるように対応できればよいと思います。
- ・三者での協働により時間がタイトになったようですので、今までの実績をふまえ、タイムテーブル等の見直しを検討していただきたいと思います。

協働事業評価シート

部課名	こども未来部 こども育成課
記入団体名	NPO法人川越子育てネットワーク

平成27年度

予算事業名	地域子育て支援事業
-------	-----------

新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/>
--

協働事業名称	子育て支援事業「つどいの広場」		
協働事業の概要	子育て中の親子が気軽に集える場の提供として設置する「つどいの広場」を運営し、地域における子育て支援を図ることを目的とする。		
協働事業の決算額	3,160,100	円	<small>※委託額及び補助金額を記載</small>
事業の実施期間	平成27年4月1日 ~ 平成28年3月31日		

協働の提案者	①川越市からの提案 ②市民活動団体等からの提案	①
協働の形態	① 補助・助成 ② 共催 ③ 協働委託 ④ 後援 ⑤ 情報交換・情報提供 ⑥ 実行委員会・協議会 ⑦ 事業協力 ⑧ 企画・計画立案への参画	③

【協働事業評価について】

○評価基準… ・大変よくできた（5点） ・よくできた（4点） ・できた（3点）
・あまりできなかった（2点） ・全くできなかった（1点）

No.	評価の視点	実施段階	評 点		
			行政	団体	平均
1	協働事業を行うにあたって、互いの持つ情報等を共有することができましたか。	前・中前	5	5	5
2	相手の立場や特性を互いに理解し、信頼関係を築けましたか。	前・中前	5	5	5
3	事業目的を共有することができましたか。	前・中	5	5	5
4	市民活動団体等の自主性・自立性は尊重されましたか。	後	5	5	5
5	行政と市民活動団体等が対等な立場で事業を実施できましたか。	後	5	5	5
6	役割分担や責任を明確にすることができましたか。	後	5	5	5
7	全体として満足できる結果でしたか。	後	5	5	5

合計点数	35点
------	-----



つどいの広場の様子

【担当者等からの今回の協働事業に対する感想等】

【行政】

「つどいの広場」では、助産師、保育士、医師等専門家による相談も行っており、利用者である子育て中の保護者が悩みを気軽に相談できることから大変好評を博している。

また、利用者同士の子育てに関する悩みの共有ができ、リフレッシュが図れることから、1日平均約35組程度の継続的な利用が見られている。父親の参加についても増えており、家庭内におけるワークシェアリングにも寄与していることが伺える。

次年度は開設時間を前後30分ずつ拡大し、より充実した子育て支援の広場として展開していく予定である。今後は、祖父母の利用なども視野に入れ、より地域に根差した、誰もが利用しやすいつどいの広場となるよう事業を推進していきたい。

【市民活動団体等】

本事業の運営は丸7年となる。スタッフも長年の運営で利用者の気持ちに添った対応がスムーズにできるようになってきた。上のお子さんでつどいの広場に通ってこられている中で、兄弟が生まれ引き続き遊びに来られる方や、久しぶりに産まれた下の子を連れてこられる方など、地域に根付いて長く親しまれている場となっていることがわかる。認知度も上がってきたのか、出産後、早い月齢で遊びに来られる方も増えたように思う。

施設管理面においても、各所の修繕について見直すことができ、利用者のためにできる対応をお互いに考えることができた。

【川越市協働事業審査委員会における評価】

		評価結果
A	9名	A
B	0名	
C	0名	
D	0名	

【事業に関するコメント】

別紙に記載

【事業に関するコメント】

- 関係者のスキルアップを図り、より充実した子育て支援事業となることを期待します。
- 見学したところ、0歳児育児の母親たちにとって必要な場となっており、地域に根ざしている様子がよくわかりました。スタッフも川越で子育てをした母親たちで、女性の活用、仕事の場にもなっています。企業に委託をする自治体も増えていますが、川越市が協働しながら子育てサークルを育ててきたという面もあり、他市へのモデル事例ともなっています。他の地域でも実施出来れば、母親たちの就労支援と育児支援の2つが解決できると思います。
- 専門家による相談、利用者同士の悩みの共有など非常に充実しています。引き続き事業の継続をお願いします。
- 公園等で1組だけの親子を見る時がありますが、このような場があるのを知ってほしいと思うことがあります。大勢で語ったり、遊んだり、専門家から助言をいただいたり、新しいことを知ったり、ぜひ、これからも啓発をして事業を継続してほしいと思います。親子の心身の健康のためにも良いと思います。

協働事業評価シート

部課名	環境部 環境政策課
記入団体名	南小畔親水クラブ

平成27年度

予算事業名	環境基本計画推進
-------	----------

新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/>
--

協働事業名称	かわごえエコツアー事業		
協働事業の概要	市内の環境の現状と保全活動の大切さを学び自主的に環境活動に参加する人を増やすため趣旨に賛同した市民活動団体に協働委託して実施するものである。 実施日：平成27年10月21日（水） 行程：川越駅西口→資源化センター→霞ヶ関第二浄水場→川越水上公園→新河岸川上流水環境センター→農業ふれあいセンター→川越駅西口 参加者：23名		
協働事業の決算額	93,000	円	<small>※委託額及び補助金額を記載</small>
事業の実施期間	平成27年10月21日		

協働の提案者	①川越市からの提案 ②市民活動団体等からの提案	①
協働の形態	① 補助・助成 ② 共催 ③ 協働委託 ④ 後援 ⑤ 情報交換・情報提供 ⑥ 実行委員会・協議会 ⑦ 事業協力 ⑧ 企画・計画立案への参画	③

【協働事業評価について】

○評価基準… ・大変よくできた（5点） ・よくできた（4点） ・できた（3点）
・あまりできなかった（2点） ・全くできなかった（1点）

No.	評価の視点	実施段階	評点		
			行政	団体	平均
1	協働事業を行うにあたって、互いの持つ情報等を共有することができましたか。	前・中	5	5	5
2	相手の立場や特性を互いに理解し、信頼関係を築けましたか。	前・中	5	5	5
3	事業目的を共有することができましたか。	前・中	5	5	5
4	市民活動団体等の自主性・自立性は尊重されましたか。	後	4	5	4.5
5	行政と市民活動団体等が対等な立場で事業を実施できましたか。	後	5	5	5
6	役割分担や責任を明確にすることができましたか。	後	5	5	5
7	全体として満足できる結果でしたか。	後	5	5	5

合計点数	34.5 点
------	--------



新河岸川上流水環境センターで水の循環について説明を受ける参加者の様子

【担当者等からの今回の協働事業に対する感想等】

【行政】

協働事業は、それぞれの団体（民間・行政）が持っている利点や得意分野を活かした事業ができる制度であると考えている。

今回のエコツアーに関しては、団体側が有している環境に関する知識やネットワーク、行政が有している広報力や市民からの認知度を一体化することによって、より高い次元での事業が実施できたものと考えている。

企画内容は、バランスよくバラエティに富んだ内容となっており、参加者からの感想をみても、質の高いよい事業が実施できたものと考えています。

【市民活動団体等】

市内4箇所の環境施設を見学し、いずれも講師の方の熱心な説明がありました。

参加者にも比較的好評でしたが、テーマが多すぎたのではといった意見もあり、今後はテーマを絞る必要があると考えます。ツアーを実施して、「よかった」で終わらせず、今回勉強したことを実践につなげていきたい。

【川越市協働事業審査委員会における評価】

		評価結果
A	6名	A
B	3名	
C	0名	
D	0名	

【事業に関するコメント】

- ・自然環境における、日常生活の大切さを各施設の見学、説明を通じて身に付ける効果は非常に高いと思いますので、参加人数をもう少し増やせれば尚良いと思います。

- ・良い事業です。今後は、体験型や夏休み・日曜等休日の親子参加等も考えてほしいと思います。

- ・単なる視察旅行に終わるのではなく、ツアー実施後のフォローアップや環境保全に係わる実践活動に繋がるカリキュラムができることを期待します。

- ・参加者がすぐに実践できる事例等の提案があると尚よいと思います。“市民が環境のためにできること”等の問をアンケートに取り入れてみたら如何でしょうか。

- ・必要な事業だが、協働するには難しい面もあります。環境に対する市民の意識をどうしたら高められるか常に工夫が求められると思います。

- ・環境に関する事業は継続することで理解や興味が出てくるので、地道に続けて欲しいと思います。